

第26回 全国建築塗装技能競技大会 東京地区大会

課 題

大会開催日及び会場

平成30年10月11日

東京都渋谷区鶯谷町 19-22 塗装会館

大会タイムスケジュール

9:00	集 合	13:00	競技開始(午後の部)
＼	着替え・競技準備	＼	競 技
9:30	開 会 式	14:30	色見本板提出
＼	課 題 説 明	＼	競 技
10:00	競技開始(午前の部)	15:30	競 技 終 了
＼	競 技	＼	後片づけ・着替え
12:00	競技終了(午前の部)	16:00	表彰及び閉会式
＼	昼 食 ・ 休 憩	終 了 後	慰 労 会

注 意 事 項

1. 支給された材料の品名、数量等が「支給材料」のとおりであることを確認すること。
2. 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
3. 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
4. 使用工具等は、「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用しないこと。
5. 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
6. 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
7. 調色作業及び調合作業は、工程に関係なく任意に行ってもよい。
但し14:30までに色見本板を提出すること。
8. 課題AとBは競技時間内に終わらせること。
9. 作業が終了したら、審査員に申し出ること。
10. 刷毛などの洗い物は、作業終了の15:30以降に行ってもよい。

課題A つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗装作業並びに合成樹脂エマルジョンペイント塗装作業

次の注意事項及び工程に従って、支給されたラワン合板に次ページの課題図のように区画線を引き、調色したA色のつや有合成樹脂エマルジョンペイント及び調色したB色の合成樹脂エマルジョンペイントを使用して上塗りを行いなさい。

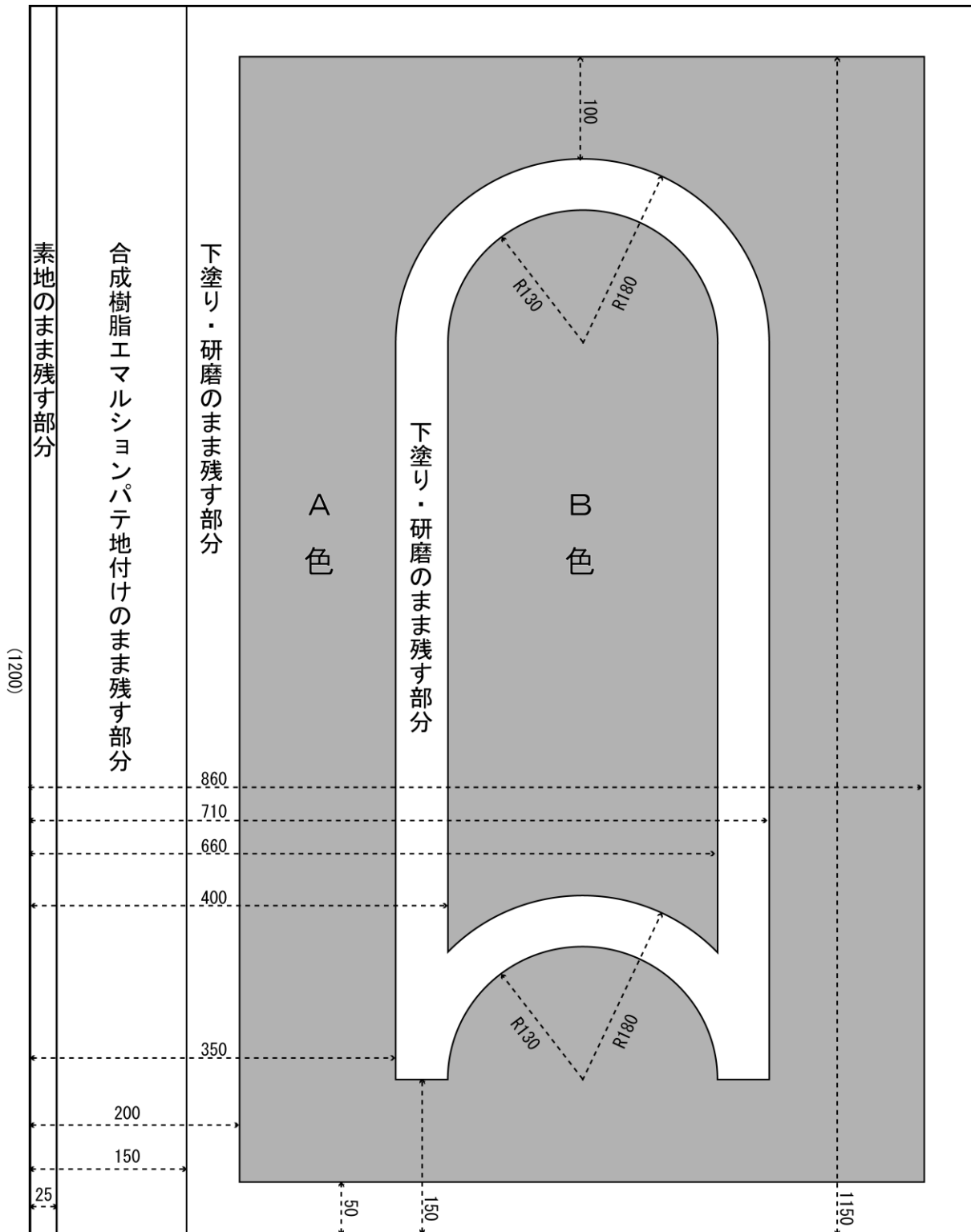
(1) 注意事項

- イ 塗り分けの区画線（寸法取りの線）の線描きは、縦方向については下端より、横方向については左端より行うこと。
- ロ 塗り分けの区画線は塗りつぶすこと。
- ハ 中塗り、上塗りにマスキングテープ及び定規を使用しないこと。
色見本板に塗る際はマスキングテープの使用可とする。
- ニ 上塗りは、刷毛で縦方向に通すこと。
- ホ 調色半ばであっても、中塗りとして使用してもよい。
- ヘ ラワン合板は立てて作業をするが、線描き作業のみ立てなくてもよい。

(2) 工程

- ① 汚れ・付着物除去：研磨紙等で、ごみ、汚れ等を除去し、清浄な面とすること。
- ② パテしごき：素地のまま残す部分を除いて、合成樹脂エマルジョンパテ（ピンク色）により、全面へらしごきをすること。
- ③ 研 磨：パテしごき面を、研磨紙P220により、研磨紙ずりをすること。
- ④ パテ地付け：パテしごき面を、合成樹脂エマルジョンパテにより、へら又は鏝で下地付けをすること。
- ⑤ 研 磨：パテ地付けのまま残す部分を除いて、研磨紙P220により、研磨紙ずりをすること。
- ⑥ 下 塗 り：素地及びパテ地付けのまま残す部分を除いて、シーラーにより、刷毛塗り1回をすること。
- ⑦ 研 磨：下塗りした面を、研磨紙P220により、研磨紙ずりをすること。
- ⑧ 線 描 き：定規、ものさし、コンパス及び鉛筆により、課題図に示す寸法で区画線を描くこと。
- ⑨ 中 塗 り：A色（近似色可）・B色（近似色可）を課題図に示す区画線を塗りつぶし、中塗り1回刷毛塗りすること。同時に色見本板の指定する部分に中塗りすること。
- ⑩ 色見本板塗り：A色・B色それぞれの調色作業が終了したら、審査員の立会いで、色見本板の指定する部分に刷毛で2回目を塗り仕上げをすること。14:30までに提出すること。
- ⑪ 上 塗 り：調色したA色のつや有合成樹脂エマルジョンペイントとB色の合成樹脂エマルジョンペイントにより、課題図に示すように区画線を塗りつぶして、刷毛で2回目を塗り仕上げをすること。

課題A つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗装作業並びに合成樹脂エマルジョンペイント塗装作業



※ラワン合板の 910×1200mm は多少の誤差があります。 (910) (単位：mm)

- A色 G35-70H つや有合成樹脂エマルジョンペイント
- B色 G22-80F 合成樹脂エマルジョンペイント

課題B 防水形外装薄塗材E（単層弾性）ローラー塗り仕上げ塗装作業

次の注意事項及び工程に従って、設置されたラワン合板に次ページの課題図のようにモールディングを貼り、周囲をマスキングテープおよびマスカーで養生し、上塗りを行いなさい。

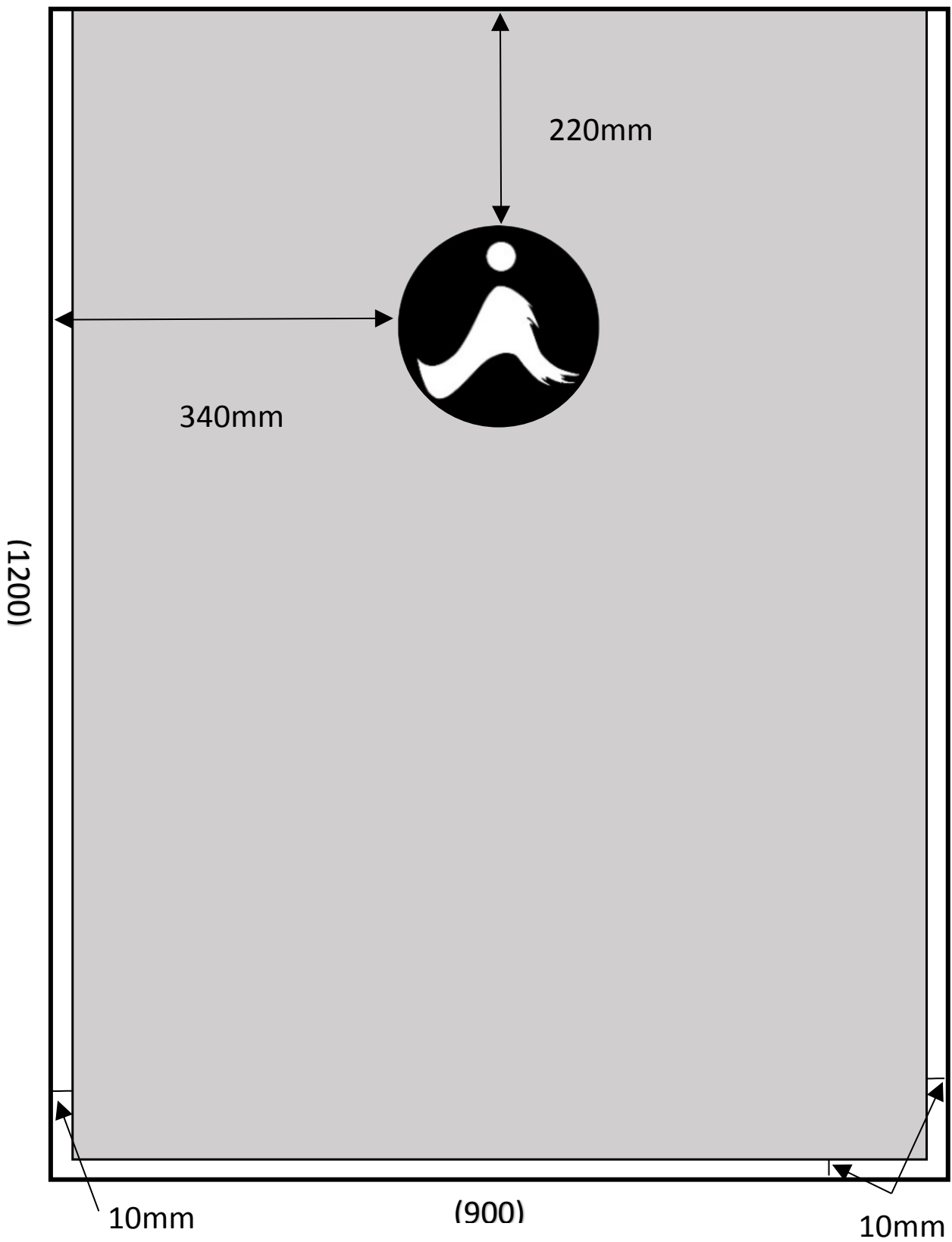
(1) 注意事項

- イ 支給された試し塗り用板を用いて、多孔質ローラーを慣らすこと。
- ロ 支給材料以外は使用しない。
- ニ モールディング取付け用の外部用アクリルコークは所定の場所まで取りに行くこと。

(2) 工程

- ① 素地ごしらせ：付着物の除去・清掃をなさい。
- ② モールディングの取付け：モールディングを、図面寸法位置に外部用アクリルコークを用いて貼り付けなさい。固着確認後、周囲をマスキングテープおよびマスカーで養生しなさい。
- ③ 単層弾性塗り：支給された防水形外装薄塗材E（単層弾性）を見本の模様になるように多孔質ローラーを用いて仕上なさい。

課題B 防水形外装薄塗材E（単層弾性）ローラー塗り仕上げ塗装作業



1. 出場選手が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
容器	180ml程度	4	空き缶など(色合わせ用)
		4	下げ缶とする(塗装用)
平刷毛又は筋かい刷毛	80mm以上	1	シーラー用
平刷毛又は筋かい刷毛	40mm以上90mm以下	4	水性用 (はけの種類はいずれでもよい)
筋かい刷毛	30mm程度	5	水性用 だみ分け用
	15mm程度又は9mm程度	5	
パテ用へら	200mm以下	1	調整済みですぐ使えるへら (木・金属・プラスチック製のいずれでもよい)
調合用へら	30mm程度	1	木べら又は金べら
ダスター刷毛		1	清掃用
手定盤		1	
かくはん棒		適宜	割りばしでもよい
養生用紙		適宜	床養生、その他の養生ができるもの(マスキングテープ等)
コンパス		1	半径180mmの円が描けるもの
鉛筆及び消しゴム	鉛筆はHBに限定	適宜	
マスキングテープ	18mm程度	1	
小板		適宜	調色ためし塗り用(紙でもよい)
カワスキ		1	
ろ過用具		適宜	塗料をこすもの
作業服等		一式	作業帽及び作業靴を含む

(注) 使用工具等の種類は、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することはさしつかえない。また、数量は少なくともよい。

飲料、角コテ、課題の下に敷く垂木も持参可。

2. (一社) 日本塗装工業会 東京支部で用意するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
完成見本		1	会場に1つ
ウエス	手ぬぐい大程度	適宜	
鍔	角こて 270mm ステンレス製		持参可 希望者のみ
ものさし	30cm程度	1	
定規	1m程度	1	
ラワン合板	910×1200×9(mm)	1	サイズの多少の誤差あり
バケツ及びネット、内容器	ローラーバケツM ネット付	1	
多孔質ローラー	多孔質ローラー(標準目) 7インチ	1	主材厚塗り用
	コーナーローラー(標準目)	1	
合成樹脂エマルジョンペイント 日本ペイント エコフラット 70	白 1/4L	1	
	茶 1/24L	1	インディアンレッド
	黒 1/24L	1	ブラック
	青 1/24L	1	シャニンブルー
	黄色 1/24L	1	パーマネントエロー
つや有合成樹脂エマルジョンペイント 日本ペイント オーデコートG エコ	白 1/3L	1	
	茶 1/24L	1	インディアンレッド
	黒 1/24L	1	ブラック
	青 1/24L	1	シャニンブルー
	黄色 1/24L	1	パーマネントエロー
合成樹脂エマルジョンパテ	600g	1	メーカー MKⅢパテ
合成樹脂エマルジョンパテ	しごき用	適宜	メーカー MKⅢパテ(ピンク色)
シーラー(顔料入り)	合成樹脂エマルジョン系 1/4L	1	日本ペイント ホワイトシーラー
防水形外装薄塗材E	2kg	1	日本ペイント DANフレッシュR
研磨紙	P200	1	
色見本板		2	(ベニヤもしくは厚紙)

第26回 全国建築塗装技能競技大会について

全国建築塗装技能競技大会は、全国の各ブロック事に予選会を行い、そこで選ばれた代表者が出場する事になっています。今回の東京地区予選で、成績優秀者上位4名が東京代表として出場します。（人数が変更される事もあります）

大会日は、平成31年の10月（2日間）に福岡県北九州市で開催されます。

本大会への参加費は無料で、代表選手の会場までの交通費と宿泊費は日本塗装工業会が負担いたします。

東京代表選手は、平成31年の9月に約5日間の特訓を行います。

過去の大会模様については、東塗協ホームページ（<http://www.paint.jp>）のメニューボタン東塗協の関係団体「一般社団法人 日本塗装工業会 東京支部」の「日塗装東京支部技能競技大会」、（一社）日本塗装工業会ホームページ（<http://nittoso.or.jp>）で見ることが出来ます。